

# 令和3年度 鶺小学校学校評価アンケート結果について

■よく当てはまる ■やや当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない

## ①保護者アンケート

4点満点

R3

項目	評価	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
1 学校は、子どものよさや頑張りを認め、自己肯定感を育む教育をしている。	3.2	121	263	32								
2 学校は、分かる・楽しい授業に努め、子どもに学力を付けている。	3.1	93	282	41								
3 学校は、保護者や子どもの悩みや困りごとに寄り添い、真摯に対応している。	3.1	131	228	49								
4 学校は、いじめ防止基本方針(ホームページ参照)に沿ったいじめの防止や対応に取り組み、温かい心の育成とよりよい関係づくりに取り組んでいる。	3.3	153	224	35								
5 学校は、家庭や地域と連携し、緊急時の情報発信や、非常時を想定した訓練、環境衛生など、児童の安心・安全に努めている。	3.3	150	241	26								
6 学校は、タブレットなどICTを使った新しい教育活動に努めている。	3.2	146	230	40								
7 学校は、英語に親しみ、外国の文化に関心をもてるよう工夫している。	2.9	63	253	95								
8 子どもは、自他(家族・仲間・地域の人)の命の尊さを理解した行動をしている。	3.2	122	260	35								
9 子どもは、苦手なことに挑戦し、努力することのよさを感じている。	2.8	55	224	122								
10 子どもは、話す人を見て、最後まで話を聞くことができる。	3	81	257	77								
11 子どもは、理由をつけて思いや考えを話すことができる。	3	94	236	82								
12 子どもは、家庭学習に進んで取り組んでいる。	2.8	97	183	111								
13 子どもは、週に1時間以上、読書に親しんでいる。	2.3	68	95	138								
14 子どもは、進んであいさつをしている。また、「ありがとう、ごめんなさい」をきちんと言える。	3.1	106	231	76								
15 子どもは、家庭で身の回りの整頓や手伝い、掃除などを自分から行っている。	2.6	58	160	162								
16 子どもは、家庭や地域で温かい言葉で話したり、譲ったり、助け合ったりしている。	3	82	253	76								
17 子どもは、ゲームや携帯、テレビ、タブレットの約束や、きまりを守って生活している。	2.7	71	200	108								
18 家庭では、子どもの話をよく聞いたり、よさや成長を見つけてほめたりしている。	3.2	105	273	39								

## ②子どもアンケート

4点満点

R3

項目	評価	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
1 先生は、自分のよいところや頑張っているところを認めてくれる。	3.5	446	266	53								
2 授業がよく分かる。学校が楽しい。	3.4	423	274	61								
3 先生は悩みや相談ごとに対し、親身に応じてくれる。	3.6	517	199	42								
4 人のいやがることをしていない。また、悲しい思いをしている子をそのままにしない。	3.5	459	235	52								
5 日頃から、事故や災害、けが等から身を守れるよう、よりよく考え、判断して行動している。	3.5	450	258	58								
6 タブレットを使って勉強することができる。	3.6	513	205	48								
7 英語で簡単なコミュニケーションをしたり、外国の文化を学んだりできて楽しい。	3.2	367	269	93								
8 自分の命も周り(家族・仲間・地域)の命を大切に行動している。	3.7	553	195	24								
9 苦手なことに対してもあきらめずに取り組むことができる。	3.2	336	314	106								
10 話す人を見て、自分の考えと比べながら、最後まで聞くことができる。	3.3	337	356	71								
11 自分の考えをわけをつけて話すことができる。	3.1	287	310	148								
12 家庭学習に取り組む時間を決めて、自分から進んで行っている。	3.1	325	271	137								
13 1週間で1時間以上、読書をしている。	2.8	274	181	172								
14 あいさつや返事、「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から言える。	3.6	512	214	42								
15 学校や家庭で、身の回りの整理整頓や仕事、手伝い、掃除などを進んで行っている。	3.2	314	331	106								
16 学校や家庭、地域で温かい言葉で話したり、ゆずったり、助け合ったりしている。	3.3	364	321	80								
17 ゲームや携帯、テレビ、タブレットの約束や、きまり、ルールを守っている。	3.4	450	215	73								
18 家の人は話をよく聞いてくれる。また、自分のよいところやがんばっているところをほめてくれる。	3.6	558	159	47								

### <保護者評価>

家庭や地域と連携して児童の安心安全に努めることができました。また、いじめの防止ならびに自己肯定感の醸成なども高く評価していただきました。「読書に親しむ」や「身の回りを整頓する」「誰かのために働く」、「約束やきまりを守る」などは昨年同様に課題と分かりました。奉仕の精神は、社会的自立につながる大切なものです。家庭の仕事や奉仕活動を通して清々しさを実感させたり、感謝の気持ちを伝えたりすることでさら育んで参ります。

・本年度も命や人権の尊重、自己肯定感の醸成に力を入れて運営してきました。中でも、いじめ対策監による日々の啓発活動や児童会活動、青少年赤十字モニター校の活動などを通じ、ゆたかでたくましい鶺の子を育てられました。  
 ・学力向上においては、漢字学習の日、分かる・できる授業、ICTを活用した個別最適な学びの実践に従事してきました。次年度は今年度の運営に加え、努力することの良さを実感できるよう指導して参ります。加えて、英語や理科などをはじめ、専門性が要求される教科においては、教科担任制を導入し、質の高い授業を提供して参ります。また、子どもの学びが充実するためには、教職員が快活に勤務し、じっくり教材研究に取り組むことが欠かせないため、学校における働き方改革を進めながら、引き続き子どもに軸をおいた学校運営を行って参ります。  
 ・規範意識や奉仕の精神は、社会に出た時に役立つ資質と考えます。学校と家庭、地域が連携して、日々の授業や学校行事、土曜授業などを生かし、子どもにそれらを学ぶ場を作り、繰り返し経験させ、伸びる言葉がけをして、主体的にできるようにしていきます。ゴールの姿を描いて、粘り強く取り組んで参ります。  
 ・読書量は昨年度よりも向上していますが、長い文章をじっくり読む力は引き続きの課題です。読書の量や時間を見える化する工夫やブックトーク、家族読書などを通して、読書好きな子を育てて参ります。

### <子ども評価>

本年度も、大河内祥晴さんを招いた『いじめについて考える会』を機に、心を育む教育活動を行い、自他の命を大切に子どもを育てることができました。学力の面では、分かる授業や漢字学習など、楽しんで学ぶ中でできるようになった自分を自覚し、自己肯定感を高めることができました。次年度はさらに、努力することのよさに気付き、自ら挑戦して磨きかける子どもを育てて参ります。また、日々の生活に問題意識をもち、主体的に関わり、省察し、新たな課題を見いだすなど自己調整する力も伸ばして参ります。